

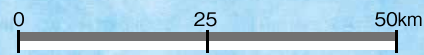
書を巡るMAP

書を巡るルート

書を巡るルート

64P

- 1 金田心象書道美術館 (幌延町)
- 2 焼尻郷土館(旧小納家)(焼尻島)
- 3 「滄海」石碑(焼尻島)
- 4 「北の蒼い海」石碑(羽幌町)
- 5 「記念公園ふるさと百年」石碑(羽幌町)
- 6 書の北浜記念室 ~中野北浜作品展示室(羽幌町)
- 7 留萌振興局庁舎(留萌市)
- 8 市立留萌図書館(留萌市)
- 9 留萌市海のふるさと館(留萌市)
- 10 旧商家丸一本間家(増毛町)
- 11 石狩市はまます郷土資料館(旧白鳥家番屋)(石狩市)
- 12 辻井京雲ギャラリー 墨響(雨竜町)
- 13 「石狩川」石碑(江別市)
- 14 「大地の手」石碑(札幌市)
- 15 「創成の川」詩碑(札幌市)
- 16 石川啄木歌碑(札幌市)



西蝦夷 書を巡る旅

西蝦夷は中野北浜氏、金田心象氏、辻井京雲氏など、

日本を代表する書の大家を輩出した土地でもある。ここでは彼らの書が楽しめる施設を中心に、明治の三筆の書などを含め、札幌から西蝦夷周辺の地域まで、名書を巡る旅を提案する。



大家たちが揮毫した名書を訪ねて歩く

羽幌町焼尻島出身の中野北浜氏、留萌市生まれの金田心象氏、そして空知地方の雨竜町出身の辻井京雲氏は、ともに日本を代表する書の大家である。彼らの作品から伝わってくるのは、荒い波や凍てつくほどの寒さなど、厳しい自然環境が体や精神に吸収され染み込んだ者のみが表現できる「書」があるということ。なお、彼らの作品を一度に堪能できる展示施設が各地にあるので、手軽に立ち寄り目の前にして楽しむことが可能だ。こうした展示施設以外でも、彼らの作品や石碑などは、公共の場所や公園でお目にかかれるので、気軽に鑑賞することができる。

また、明治の三筆と呼ばれた書家の作品などが焼尻、増毛、石狩の展示施設にあるので見学可能。これらは鯉番屋や豪商の家屋に所蔵されていたものだ。鯉景気の時代、この地域がいかに裕福だったかを雄弁に物語っている。他のページで紹介されている観光スポットに隣接した場所も多いので、周辺の観光と合わせ、「書」という芸術に触れてみてはいかがだろうか。

書の偉人たちの筆意に触れる

南は札幌から北は幌延まで、名書を訪ねるルートを提案した。専門の展示施設以外にも、公共の場所で展示されている作品、そして屋外の石碑や歌碑も紹介していく。



1 金田心象書道美術館

幌延町幌延102-1
金田心象の書作品約1200点
硯・筆・陶器類約400点を収蔵。
1階は大型の書作品と喫茶室があり、
2階は小型の書と愛用品を展示。



TEL.01632-5-2720
開館時間/10:00~16:00
休館日/月曜、祝日(5月3~5日)
は開館)年末年始、展示替日
入館料/大人300円、小中学生・
高校生150円

2 焼尻郷土館(旧小納家)

羽幌町焼尻東浜1833
中野北溟の書「夏海」の他、
巖谷一六「豊漁盛福」額、中林梧竹「招
四海財源」(ともに明治の三筆)の
書が展示してある郷土資料館。



TEL.01648-2-3392
開館時間/5月1日~9月30日の9:00~16:00
休館日/開館期間中無休
入館料/大人320円、高校生以下無料

3 「滄海」石碑

羽幌町焼尻
焼尻島の日本海を見渡せる高台に
中野北溟生誕の地を記念した「滄海
(おうみ)」石碑がある。



中野北溟揮毫の「北の蒼い海」石碑。場所は羽幌
フェリーターミナルの出入り口に向かって左側。

4 「北の蒼い海」石碑

羽幌町港町1丁目51

5 「記念公園ふるさと百年」石碑

羽幌町北5条1丁目



はばろパラ園の駐車場入り口付近に中野北溟
揮毫の「記念公園ふるさと百年」の石碑がある。

6 書の北溟記念室

中野北溟作品展示室
羽幌町南6条2丁目
中野北溟の常設展示室。所蔵品の
中から20点ほどを展示している。羽幌
町立中央公民館内にあり入場無料。不
定期だが展示替えを行っている。ま
た、公民館のエントランス壁面にも大
書が展示されている。



TEL.0164-62-1178
開館時間/9時~17時半
休館日/毎月第4日曜、12月30日~1月3日

7 留萌振興局庁舎

留萌市住之江町2丁目1-2

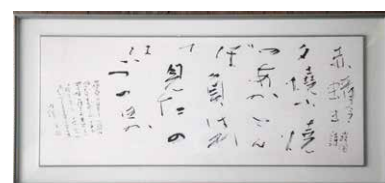


TEL.0164-42-8404
開庁時間/8:45~17:30
休庁日/土・日曜、祝日、
12月29日~1月3日

2階の壁に中野北溟の大書が展示
されている。これらは羽幌町の「書
の北溟記念室」中野北溟作品展示室の
所蔵品。不定期になるが、展示替えを
行っている。

8 市立留萌図書館

留萌市住之江町2丁目1-1
休憩室に中野北溟による童謡「赤
蜻蛉」の歌詞が書かれた額が展示し
てある。歌詞の1番のみ大きく書か
れていて、2~4番までは小さくだ
が全て書かれている。



TEL.0164-42-2300
開館時間/
10:00~18:00(4~10月の木曜は19:00まで)、
10:00~17:00(土・日曜、祝日)
休館日/月曜、その他図書館カレンダーに準ずる

9 留萌市海のふるさと館

留萌市大町2丁目3-1



TEL.0164-43-6677
開館時間/4月下旬~10月中旬の9:00~18:00
休館日/開館期間中は無休

中野北溟の書が会議室に飾られて
いる。鑑賞希望の際はスタッフに依頼
が必要。

10 旧商家丸一本間家

増毛町弁天町1丁目27



TEL.0164-53-1511
開館時間/4月下旬~11月上旬の10:00~17:00
休館日/木曜(祝日の場合はその前日)※7、8月は無休

明治の三筆、巖谷一六による襖に
書かれた漢詩が「奥の間」と「客間に
展示されている。

11 石狩市はまます郷土資料館(旧白鳥家番屋)

石狩市浜益区浜益77-1



TEL.0133-79-2402
開館時間/5月1日~10月31日の10:00~16:00
休館日/火曜(祝日の場合は翌日)
入館料/大人300円、中学生以下無料

明治32年に建てられた煉瓦屋を復
元した郷土資料館。明治の三筆、巖谷
一六の書が展示されている。

12 辻井京雲ギャラリー 墨響

雨竜町満寿28-3



TEL.0125-79-2100
開館時間/9:00~17:00(5~10月)、10:00~16:00(11~4月)
休館日/年末年始(12月31日~1月2日)

平成25年4月開館。雨竜町出身の書
家辻井京雲の書が20点ほど展示さ
れている。不定期だが、展示替えを
行っている。入館無料。

13 「石狩川」石碑

江別市萌えぎ野西



国道12号と石狩川の間、国道337号の美原大
橋から札幌側の場所に中野北溟揮毫の石碑
「石狩川」がある。

14 「大地の手」石碑

札幌市厚別区厚別町小野幌



野幌森林公園の「大地の手」モニ
メントの40周年で建立された大地の
手「石碑」。100
年記念塔付近に
ある。揮毫は中
野北溟。元
になった書は北海
道議会に寄贈さ
れた。

15 「創成の川」詩碑

札幌市中央区北1条西1丁目創成川公園



中野北溟が揮毫した原子修の詩
「創成の川」詩
碑がある。創成
川公園の北1条
北2条エリア
遊歩道の南西
側。

16 石川啄木歌碑

札幌市中央区大通西3丁目大通公園
(地下鉄「大通」駅6番出口の脇)

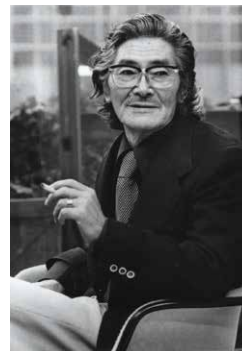


石川啄木像の横に歌碑「しんと
して幅廣き街の秋の夜の玉蜀黍(と
うもろこし)の焼くるにほいよ」が
ある。中野北溟が揮毫。

西蝦夷の三筆

金田心象

1907年~1990年
留萌市生まれ、幌延町出身



文部省で習字の教科書執筆
や学習指導要領の編纂に携わっ
たほか、賞状・式辞などの揮毫を
担当。書家として数々の役職を
歴任。日展文部大臣賞、日本芸術
院賞、勲四等旭日小綬章等を受
章。肺炎のため82歳で死去。

中野北溟

1923年~
羽幌町焼尻島出身



日展審査員、創玄書道会、毎
日書道会、北海道書道展等の役
員を務める。生まれ故郷の北海
道を愛し、近代詩文を中心に作
家活動を続けている。受賞歴も
多数。2009年、今までの功績
を評価され旭日小綬章を受章。

辻井京雲

1944年~
雨竜町出身



大学卒業後、金子鷗亭氏に入
門。北海道教育大学教授、北海道
書道展理事、ロンドン大学客員
講師、大英博物館研究員などを
歴任。国内外で活躍。また創玄展
大賞他、数々の賞を受賞。後進の
指導にも力を注いでいる。